

太陽光発電設備 盗難対策、盗難復旧 案内書

テクノケア株式会社



Techno Care
テクノケア株式会社

～近年盗難が多発しているのをご存じですか？～

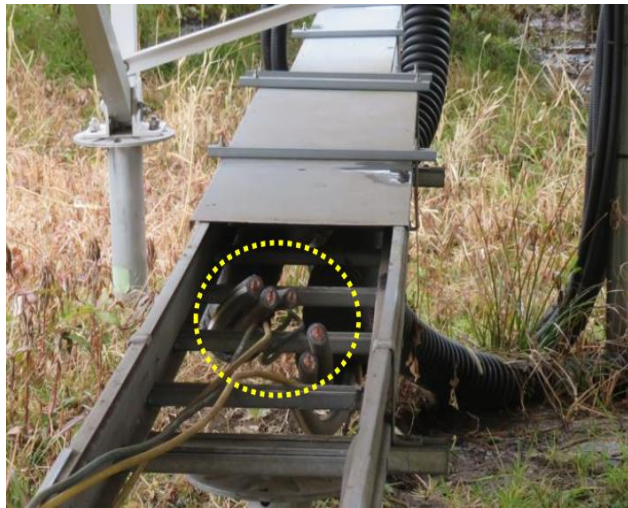
近年、太陽光設備が普及されてきておりますが、平行して盗難が全国各地で急増しております。

盗難されるものは「送電用の電線ケーブル」になります。

盗難は組織的、かつ全国的に行われており、特に北関東で多いイメージです。

また低圧設備は対策されていない設備も多く、被害に遭う割合としては低圧がほとんどの割合を占めています。

高圧設備も件数は少ないものの被害としては多発しており注意は必要です。



🔔 上記写真のように固い銅線が鋭利に切れ盗難されています。



🔔 フェンスを切断され侵入されてしまいます。

～盗難の背景～

近年 電線に使用される銅が価格高騰していることが一番の要因かと推測されます。電気自動車(EV)等の需要が高まりつつあり、従来のガソリン車の4倍の銅を使用することも不足、高騰している理由の一つかもしれません。

価格高騰、受注停止などを受け市場価格の7～8倍程度で転売されているケースもニュースなどで報道があります。

また盗難の急増を受け、保険申請をされる割合が20倍程度まで急増しており、保険内容によっては保険申請が通りずらくなっていたり、そもそも新規での受付をしない保険会社も増えてきています。

その為保険で直すという考えは捨て、

今後は盗難されないよう対策を取る事が必要となってきます。



～盗難されたケーブルはどのようなのか～

気になる事としては盗難されたケーブルはどのようなのか、どのように処理されるのか疑問に思う方も多いかも知れません。大体想像つくとは思いますが盗難されたケーブルは「売却」「転売」されています。太陽光に限らず、全国的にグレーチング(用水路の蓋)等も時折ニュースで見かけます。

その額は業者にもより変わってきますが、1kg当たり1000円前後で買い取りされているようです。特に2023年度は銅線の供給不足により、某フリマアプリでも出品が多数ありました。2024年は注文受付再開してきている為、転売は少なくなっているかもしれません。

中には不当な盗品とわかって買取をしている業者も多いようで、自治体によっては買取業者を許可制にすることや、規制するための条例、また持ち込み者の身元確認、取引履歴を保存しておくことを義務化するように盗難の対策を取ろうと試みている地区もあるようです。



～盗難被害にあった場合～

万が一被害にあってしまった場合どのような対応が必要なのでしょうか？
ずっと停止しているわけにもいかない為、復旧にはどの程度費用がかかるのか？

大まかな流れとしては下記となります。

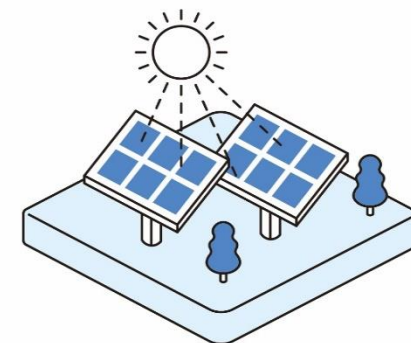
① 警察へ被害届を提出

② メンテナンス会社、施工店へ現地確認等の対応依頼

※電力会社への申請、警察の立ち合い、ブレーカーOFFの対応など

③ 復旧作業可能なメンテナンス会社に依頼

費用に関しては各会社で異なりますが部材代 ケーブル (時価)、その他マイナーパーツ等、工賃
となるため一概には言えませんが20万円以上はかかることがほとんどです。
復旧の作業はかなり費用がかかる為、事業者としては痛手となります。



～被害にあわない為にも事前の対策を～

テクノケアが推奨する盗難対策

①物理的に防ぐ(根巻)

作業前



作業後



※設備状況により実施できないケースも御座います。

②盗難されにくい外観を意識



囲い



③防犯カメラ設置



④注意喚起標識設置

金属盗難多発中！
警察通報システム作動中

Hệ thống báo cáo của cảnh sát đang hoạt động

ប្រព័ន្ធភារការណ៍ប៉ូលីសកំពុងដំណើរការ

関係者以外立入禁止

Không cho phép bất cứ ai khác ngoài những người có liên quan

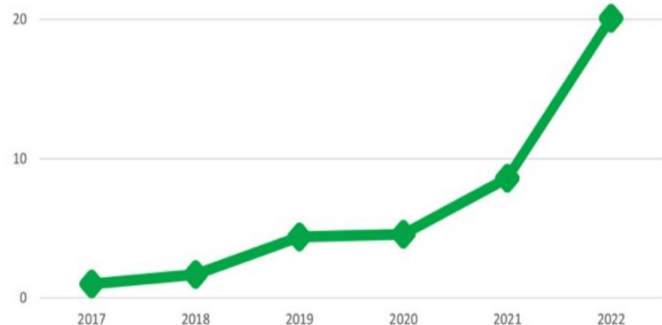
ហាមអ្នកផ្សេងក្រៅពីអ្នកពាក់ព័ន្ធចូល

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

放置している印象を与えてしまうと、盗難被害に遭いやすい為、日頃からメンテナンスをするようにしましょう。放置していると思われると人も滅多に出入りしないと認識されます。また外国の犯行グループによる窃盗被害が多い為、④のような外国語での標識を設置することも抑止力として有効です。テクノケアでは看板作成～設置まで実施も可能ですので、お気軽にご相談ください。 ※デザインやサイズにより変動有

～保険に関して～

最近では盗難が急増しており、2017年と比較し、5倍程度まで保険の支払いが増えているようです。



盗難に由来して発生した保険金の推移（2017年度を1.0とした場合の比率値） 出典：日本損害保険協会

急増していることが原因か、自然災害が増えていることが原因かは定かではありませんが、2022年ほどから保険料の値上げが行われています。また2023年からは「**免責金額**」も上がっているようです。免責金額＝事業者が支払う額、また免責金額を超える損害でないと補償されないというものになります。また盗難が「対象外」となることも増えてきています。ご自身の保険が盗難対象となるのかどうか今一度保険会社に確認をしてみましょう。

簡単にですが現状をまとめさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。率直に盗難された場合は、大変なことがわかりいただけたようでしたら幸いです。

まずは盗難されないよう、事前の対策をしましょう。

また今契約しているメンテナンス会社がどこまで対応できるのかなどの確認をし、すぐ対応できる準備をしていく事も大切です。

テクノケアでは連携後の設備にあらゆる事象に対応しております。

～テクノケアの強み～

テクノケアではメンテナンスから本資料の盗難対策、盗難後の設備復旧作業まで一貫して実施可能です。

対応地区は基本的に離島、沖縄を除く「**全国対応可能**」となります。

設備、ご予算によって**最適な対策**をご提案可能です。

全国に1000物件以上の管理物件があるため、
他物件のメンテナンス道中に現場調査なども可能な場合が多く、費用を抑えられる可能性が高いです。

一度他社様に断られたからできないんじゃないか・・・という心配のお声も頂きますが、

テクノケアでは他社様ができないことも、やれるよう尽力し、
お客様に寄り添った提案を心がけております。

盗難の対策は**早ければ早いほど有効**です。少しでも心配な方は是非お気軽にご相談下さい。

詳しくは info@techno-care.jp テクノケア株式会社 担当 までお問合せ下さい

